



2021. 1. 8. No1404
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL:<http://www.sogyoren.jf-net.ne.jp/>



迎春

本年も宜しく願い申し上げます

1. 年頭のご挨拶 静岡県漁業協同組合連合会 代表理事会長 藪田 国 之

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、県下漁協の組合員並びに J F グループの皆様にご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、我が国を含め世界は新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナウイルス」）に終始した一年であり、経済に大打撃を与えました。新型コロナウイルスは 2019 年 12 月に中国・湖北省武漢市で確認され、短期間で全世界に広がり、日本では第 3 波に直面する中、年始を迎えることになりました。今春には新型コロナウイルスに対するワクチン接種が始まる模様であり、早期の収束を切望するところです。

本県では新型コロナウイルス対策に係る飲食業の営業自粛等により、高級魚の価格下落や養殖魚の出荷が減少したほか、漁協の食堂や直売所も休業要請を受け売上が減少しました。加えて、外地においても遠洋マグロ漁船が長期間出港できず、操業体制や経営に負担がかかるなど、漁業者、漁協ともに大きな影響を受けました。

こうした中で、本会ではこの対策として、国の「農林水産物等販売促進緊急対策事業」による養殖魚のアジ、マダイ、ニジマス、ウナギを学校給食に提供する事業に取り組むとともに、通販サイト（JA のしずおか「手しお屋」や全漁連の「ギョギョいち」）に漁協の商品等を登録・販売したほか、「経営継続補助金」の取扱や「水産イノベーション対策支援推進事業」では、新たに新型コロナウイルス対策予算の活用を促すなどして、積極的に取り組んでいます。

また、昨年決定した J F グループの次期運動方針（2020～2024 年度までの 5 か年計画）に基づく、県版アクションプランを策定し、その内容に沿って事業の推進を図るほか、引き続いて従前の「水産イノベーション対策支援推進事業」や「漁船リース事業」、「機器等導入事業」に加え、漁業の成長産業化のためのリース方式による漁船・漁具の導入を支援するいわゆる「新リース事業」を進めています。

一方、本会経済事業の柱である石油購買事業は、給油船「漁連丸」や出荷施設の効率的な運用を図り、会員の理解と協力を得て、拡販に努めるほか、販売事業では取扱商品の企画提案や開発に引き続き取り組むとともに、県の委託を受けて実施する温水利用事業では、今後も沿岸漁業の振興発展のため、種苗生産の課題を克服し、安定供給に万全を期していきます。

また、2017 年 8 月下旬に発生した黒潮の大蛇行は、ここへ来て終息の兆しが見え始めており、漁業への好影響に期待が寄せられているほか、12 月に解禁したシラスウナギの漁獲も順調に経過しており、昨年同様に希望の池入れを満たせるのではないかと、明るい状況もみえています。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

す。

いずれにしても、いまだ収束の見えない新型コロナにより、生活環境や労働環境が変化している中ですが、水産業界が抱える数多くの難題に取り組み、食料産業としての役割をしっかりと果たしていく必要があります。

どうか、会員並びに関係する皆様方におかれましては、J F グループの一員として、この難局を乗り越えるため、一層のご支援、ご協力を切にお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって良い年であるよう祈念して新年のご挨拶といたします。

2. 第 26 回静岡県青年・女性漁業者交流大会 — オンライン開催 —

静岡県と本会は、12 月 4 日、静岡県男女共同参画センター「あざれあ」に於いて第 26 回青年・女性漁業者交流大会を開催予定でしたが、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の傾向を鑑み、規模を縮小しつつオンラインでの開催に変更し、同日に大会を行いました。

大会では、来賓紹介の後、以下の発表が行われました。

<実績活動発表>

①『ブランドを目指して「三ヶ日みかん鮎」

—本日は三ヶ日みかん鮎を覚えてください—

静岡県鮎振興会 本多明人さん

②『御前崎港特産サワラのブランド化 —大波に乗れ！波乗り鱈！—』

南駿河湾漁協・波乗り鱈プロジェクト 池田晃雄さん

本年は開催規模を縮小したことから、例年行われていた県立焼津水産高等学校の生徒による研究発表は見送られました。

審査では、審査委員 6 名（審査委員長：岡本一利県水産・海洋技術研究所長）による審査が行われた結果、南駿河湾漁協・波乗り鱈プロジェクトの池田晃雄さんが、最優秀賞（県知事賞）を受賞し、静岡県鮎振興会の本多明人さんは県漁連会長賞を受賞しました。

最優秀賞を受賞した南駿河湾漁協・波乗り鱈プロジェクトの発表内容は、3 月 2 日に東京で開催される予定の全国大会に県代表として推薦されました。

3. しずまえ新ロゴマークデザイン募集 — 静岡市水産漁港課 —

静岡市では、清水区蒲原から駿河区石部までの駿河湾沿岸地域を「しずまえ」と称し、水揚げされる水産物（「しずまえ鮮魚」）を活用して、同地域を活性化させようと「しずまえ振興」を進めています。

「しずまえ」では、主に由比・蒲原地区の「桜えび」、清水地区の「マグロ」、用宗地区の「しらす」を中心に多種多様な魚が水揚げされています。

今般「しずまえで水揚げされる水産物」の PR 活動を推進していく新たなロゴマークを作成するため、デザインの募集を開始しました。詳細は下記の静岡市 HP に記載されていますので、興味がある方は応募をお願いします。<募集期日：令和 3 年 2 月 1 日まで>

《静岡市 HP》 https://www.city.shizuoka.lg.jp/001_000103.html

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう